



自立・振気・敬愛

先々週8日の卒業式から2週間が経ちました。在校生82名は進級に向けて、1年間の締めくくりをしっかりと行い、本日修了式を迎え、体育館で1年生も2年生も元気な声で返事をし、代表が修了証を受け取りました。

在校生のみなさん、修了および進級おめでとうございます。今年度、ウィズコロナということで、制限や制約のある中でも、いろいろなことに精一杯取り組むことができました。中体連の大会や吹奏楽コンクールなど他校との交流活動もできました。球技大会、ダンス発表会でもたくさんの笑顔が見られました。校門での礼をしっかりと行い、気持ちのよい挨拶から1日が始まり、黙想によって落ち着いて学習に取り組んだり、元気よく活動したりする姿をどの学年でも見ることができました。生徒本人の頑張りはもちろんですが、保護者の方々のバックアップと教職員の頑張りと、家庭と学校が「チーム永中」となって、新しい学びを得るために、しっかりと取り組んだからだと思います。とても感謝しております。来年度は、さらに、マスクをはずしたり、学校教育活動もコロナ前に少しずつ近づいていくと思います。日頃の健康観察・体調管理は必要となると思いますが、子どもたちにとって充実した教育活動が継続できるように、今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。1年間本当にありがとうございました。

修了式（令和6年3月22日）式辞

明るい日射しを浴びていると、春が来ていることを感じます。今日は、今年度の修了式、1年間の締めくくりの日です。

先々週の卒業式は、在校生と保護者に見守られながら、厳粛に行うことができました。卒業証書授与式では、卒業生が証書进行うとき、しっかりと顔を上げ、自信に満ち溢れた表情で立つ姿はとても立派で、私はとてもうれしく思いました。本当にとてもよい卒業式だったと思います。そして、その翌週には、2年生の立志式が1年生と保護者の前で、実行委員会によって立派に行われました。一人一人の決意を聞きながら、3年生への思いの強さを感じました。そして、学年合唱「道」を聴きながら、2年生の成長を感じました。

そして今日は、82名のみなさんの「修了式」です。先日、みなさんの通知表を1枚1枚見ながらはんこを押しました。学習にがんばった子、部活動にがんばった子、生徒会活動にがんばった子、道徳やOSにがんばった子、いろいろな学校教育活動での成果が現れていました。この一年を振り返ると、5月8日に新型コロナウイルス感染症が第5類となってから、コロナ禍前のような活動が少しずつできるようになりました。ただ、マスクをはずすことに不安や抵抗感がある子も多かったように思います。これからは、マスクをはずしていくことも増えていってほしいと思います。タブレットの持ち帰りも2年目となり、タブレット活用がとても進みました。永中生にとってタブレットは「学びの道具」になってきたと思います。これからもタブレットを上手に使って主体的な学びを継続してください。

今年度の一年間の成長には、自分の努力だけでなく、周りの人たちのおかげもあります。お世話になった人たちや周りの物に「感謝する心」をもって、その思いを「ありがとう」という言葉で表してみましょう。

さて、みなさんは、4月からひとつ上の学年になります。そして、新たな後輩ができます。「校門での礼」、「授業前の黙想」、「無言清掃」など当たり前をひたむきに取り組む永中生の伝統を後輩にしっかりと伝えてください。2年生は最高学年となり、学校のリーダーとしての活躍を期待しています。3年となり、ひとつひとつの活動がよい思い出となるように、一生懸命頑張っていってほしいと思います。

先週16日に北陸新幹線が金沢から敦賀まで延伸したように、新しい時代がやってきます。今できることに、新しいことに、どんどん挑戦してください。努力を惜しまずに取り組んでください。中学校生活でしかできないことがいっぱいありますから。

明日からの約2週間の春休み中に、新学年に向けての、新たな自分の目標を立てて、準備をしていきましょう。そして、新学年の新学期を迎えてください。

最後になりますが、4月8日の新任式・入学式の日、みんな元気な顔で登校しましょう。

令和6年3月22日

令和5年度離任式 離任者の紹介

令和5年度末の異動により、3名の先生が転任、校長が退職となります。また、3名の学校教育支援員さんも異動・退職されます。今年度の永平寺中学校のいろいろな活動を「チーム永中」の一員として、支えていただきました。ありがとうございました。

中村泉美先生は、平成30年4月から6年間本校に勤めてくださいました。国語の先生として、みなさんが楽しく国語の学習ができるようにしてくれました。昨年度も今年度も3年担任として、多くの生徒を立派に送り出してくれました。卓球部の副顧問として、大会引率や指導、練習試合にも卓球部の生徒のために頑張ってくれました。永平寺中の卒業生でもある中村先生は、生徒だけでなく、先生や保護者に対しても多くの支援をしていただき、母校の永平寺中学校がよりよい学校となるように尽力していただきました。4月からは、松岡地区の松岡中学校の先生として勤務されます。

木谷絵里事務職員さんは、平成30年4月から6年間本校に勤めてくださいました。職員室の入り口近くの席で、お仕事をさせていただきました。通学用バス券購入の時には、お世話になった生徒もいるかと思えます。事務の仕事は、学校のいろいろな活動を支える大切な仕事です。学校の活動で使うものの注文やお金の支払い、保護者の方からの集金に関わる仕事、学校を訪ねてくる方々の対応、保護者への対応などに頑張ってくださいました。4月からは、松岡地区の吉野小学校で勤務されます。

柳浦雪乃先生は令和5年4月から1年間本校に勤めてくださいました。松岡中を本務校として、通級指導の先生として毎週水曜日と金曜日、本校に勤務していただきました。英語の先生で、授業中の学習支援にも関わっていただきました。水曜日には、ソーシャルスキル指導もしていただきました。学校行事や生徒会行事にもたくさん参加して皆さんと楽しい時間を共有することができました。4月からは、福井市の酒生小学校で勤務されます。

学校教育支援員の南部充洋先生は令和4年4月から、村本善孝先生は令和4年11月から、西垣順子先生は令和5年4月から、本校に勤務していただきました。いろいろな学年に関わり、授業での学習支援や少人数での学習支援、いろいろな学校行事の準備や片付けなど、永中生と一緒に活動していただきました。多くの生徒や先生が支援をしていただきました。本当にありがとうございました。

【校長より】昭和62年4月1日より勝山中部中学校で教員生活が始まり、37年が経ちました。勝山中部中6年、成器南小2年、上志比中8年、永平寺中3年、松岡中8年、志比小1年、町教委2年、永平寺中教頭2年、松岡小教頭1年、御陵小校長2年、永平寺中校長2年という勤務でした。振り返ってみると、多くの子どもたちと出会い、多くの保護者や先生方に助けてもらったの教員生活でした。そして、永平寺中学校には、立場（教諭・教頭・校長）を変えて3回も勤務させていただきました。その中で、永平寺中の伝統が変わらず継続されていることがすごいと感じています。それは、永中生自らが伝統を繋げるという意識をもっているからできることだと思います。永中生は本当に素晴らしいと思います。自信と誇りを持って今後もがんばってほしいと思います。

1年早い退職ですが、4月からは永平寺町教育長として、私自身新しい一歩をしっかりと踏み出したいと思います。保護者の皆様、これまでのご理解・ご支援本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願ひいたします。

3/18~3/21までの給食

令和5年度の学校給食も昨日で終わりました。学校教育活動のエネルギー源であるおいしい給食を毎日食べることができたのは、多くの方々のおかげです。1年間ありがとうございました。



3/18 ミルクパン・ミネストローネ・フロッコリーサラダ・パイナップル



3/19 けんちん汁・うどんのはな・ふりかけ



3/21 ソフト麺ミートソース・タマネギのサラダ・ヨーグルト



春休み(3/23~4/7)の生活リズムを整えるには、早寝早起き朝ご飯が大切です。！！